

2019 年度(平成 31 年度) 三重県立高校後期選抜 合格ライン予想

2019 年度合格ラインは、三重県統一テスト(eisū 主催)の採点基準、および蓄積されたデータベースをもとに、eisū が独自で分析した、主要高校の合格可能性 80%ラインを意味しています。(2019 年 3 月 11 日作成)

桑名	理数科	212点	川越	国際文理科	205点
	普通	189点		普通	184点
四日市	国際科学コース	229点	四日市南	数理科学コース	210点
	普通	210点		普通	191点
四日市西	くくり	177点	神戸	理数科	193点
	普通	155点		普通	172点
津	普通	200点	津西	国際科学科	210点
				普通	187点
津東	普通	152点	上野	理数科	203点
				普通	153点
松阪	理数科	205点	伊勢	国際科学コース	213点
	普通	180点		普通	180点
宇治山田	普通	168点			

※掲載学校は北勢学区から順に並んでいます。

※当塾の受験者が少ない学校については、ライン予想を控えさせていただいております。あしからずご了承ください。

※四日市南高校の数理科学コースは数学を2倍とする傾斜配点を実施していますが、50点として予想しています。

※四日市西高校の比較文化・歴史コースと数理情報コースはくくり受験となります。

※検査点で上記点数に達していても内申点が加味されるため、合格とならない場合もございます。

参考：三重県立高校後期選抜の選抜方法

第1段階…調査書により選考された募集定員の100%以内に含まれる者かつ学力検査の順位が80%以内に含まれる者を合格とする。

※桑名(普通)、神戸(普通)、津西(普通)、松阪(普通)は募集定員の110%、

※桑名(理数)、川越(国際文理・普通)、四日市(国際科学)、四日市南(数理科学・普通)、神戸(理数)、津西(国際科学)、津東(普通)、上野(理数)、名張青峰(文理探究)、松阪(理数)、伊勢(国際科学)は募集定員の120%

第2段階…第1段階で調査書により選考された者の中から、学力検査で募集定員の残りの2分の1の合格者を決める。

第3段階…各高等学校が示す「特に重視する選抜資料等」をふまえ、残りの合格者を決定する。

注意：このデータを紙などに印刷したり、それを配布したりする行為はご遠慮ください。